



つな・かん

# ひきこもり つながる・ かんがえる 対話交流会

in  
山形

## —対話の力で、何かの変化を起こす種を育む—

「つな・かん」は、地域で新しいつながりの場を、どう生み出しどう継続していくかを考える場です。

偏見や排除のない多様な生き方、これからの社会のあり方を語り合える場です。

立場を超えた対等な関係で、参加者同士が知り合い、考えや思いを分かち合える場です。

「つな・かん」は、対話を通して、新しいアイデアに共鳴した人同士がつながりを育み、

アクションを模索していきます。

人と人同士がつながりやすい社会のあり方に関心がある方、

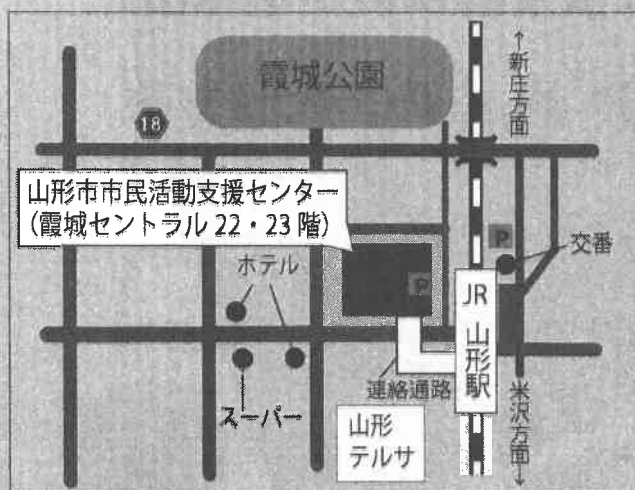
何か始めたいと思っている方、是非、ご参加をお待ちしています。

【会場】山形市市民活動支援センター  
高度情報会議室（霞城セントラル23階）

2018

11.4 (日)

13:30 ~ 16:30



【主催】若者相談支援拠点  
(認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター)  
【協力】NPO法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会  
NPO法人 から・ころセンター

《会場までの順路》山形駅改札口に向かって右手方面へ→連絡通路を通り、  
西口出口方面へ→霞城セントラル入口（2階）からエレベーターを利用  
※お車をご利用の場合、駐車場あり（霞城セントラル駐車場、山形駅東口  
交通センター駐車場）

ひきこもりのこと、多様な生き方に関心がある方。つながりを作る環境作りを継続していきたい方。  
ひきこもる本人、経験者、家族、支援者、関心のある一般の方などお立場は問いません。

【定員】30名程度(先着順)

【申込方法】下記項目をご記入のうえ、発達支援研究センターまでFAX、または電話・メールでお申し込み下さい。

①氏名・ふりがな②住所③連絡の取れる電話番号④メールアドレス⑤お立場 ⑥参加理由

申込問合せ

認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター（〒990-0035 山形市小荷駄町 2-7）  
TEL：023-679-3266 FAX：023-622-7003 E-mail：amayadori@email.plala.or.jp  
HP：http://cdss.jp/

# ひきこもり つながる・かんがえる対話交流会

## <対話の場とは>

参加者みんなで作る場です。

講演会のように答えをもらうのではなく、みんなで考えて答えを見つけましょう。

話をせず他の人の話を聴いて、考えるだけでも大丈夫です。

## <対話のときのお願い>

♪ 個人的な話はこの場限りで。

→安心・安全のお時間であるために。

♪ ご自身のお話は簡潔に。

→いろんな方が話せるように。

♪ 相手の話は“うなずき”多めで。

→反応してもらえると、話しやすくなります。

## <プログラム>

1. オープニング (はじめに)
2. チェックイン
3. テーマに分かれて対話
4. 全体共有
5. クロージング (おわりに)
6. フリータイム (つながりの時間)

## <つなかん In 東京でのテーマ>

- 地域でつながる
- こんな支援あったらいいな
- こんな活動してみたい
- 自分らしく生きられる社会
- ここちいい生き方
- 親子関係について
- 話ベタ集まれ
- フリー

※対話テーマは各地で異なります

## <参加者の声>

● いろいろな人との出会い、当事者、親、支援者、さまざまな立場の人のお話が聞いてよかった、参考になった、考えに幅が持てた。(複数)

● 自分の考えや思いを伝えられたこと、それに共感をしてもらえることが多く、嬉しかったです。(当事者)

● 話をするなかで、自分の想いがつながった。人が話をしたことで自分も話せて良かった。(当事者)

● 支援者だが、肩書きを出さなくてよかったため、支援に対する家族の本音や生の声を聞くことができ大変参考になった。(支援者)

● 自分の考えを話して、共感してもらえた。(当事者)

● 親に対する当事者の考えを聞くことができた。親として、自分の子への対応をもう一度考えることができた。(家族)

● 親の方に自分の経験をお話したり、お聞きするのはとても良かったです。自分の親でないからこそ、親の立場の気持ちを感じることができました。とても大事なことだと思います。(当事者)

【申込問合せ】 事前にお申込みの際は、表面【申込方法】の内容を、FAX か電話、またはメールにてお知らせ下さい。

認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター

電話：023-679-3266 FAX：023-622-7003 メール：amayadori@email.plala.or.jp